

日刊 動労千葉

1988.4.4
No. 2789

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

全国ストライキの渦をまきおこす

3.27 三里塚での中野委員長発言

「分割・民営化」の失敗は明らか

動労千葉を代表して中野委員長が、決意あふれる次のような発言をした。本日ここに動労千葉、動労総連合、国労共闘と多数の国鉄労働者が参加しています。

「四・一分割・民営化」強行から一年をすぎようとしています。この一年をかえりみると一言でいって分割・民営化攻撃は完全に破綻した、失敗したと自信をもっていい切ることが出来ます。

そもそも分割・民営化とはなんだったのか。巨額の赤字を解決するとして強行したが、そのことについてまったく解決のメドすらたっていない。国鉄をがんじがらめにして利権をむさぼった自民党、独占資本、この連中は、またもや整備新幹線をはじめ政治介入をたくらんでいるではありませんか。

このように分割・民営化のねらいは、「国鉄再建」の名のもとに、十万人首切りと国鉄労働運動を根底からたたきつぶすことにあったとはつきりいうことが出来ます。

「一企業一組合」などうまくいくはずがない

この攻撃にわが動労千葉は、二波にわたるストライキを敢行し、そして現在七百五〇名の組合員がいまも胸をはって闘っています。

さらに、国鉄労働組合も指導部の無方針、無責任な状況にもかかわらず、四万にもほる組合員が国労の旗を守り、全国でがんばっています。この厳然たる事実が分割・民営化を大きく破綻においでているのであります。

現在、国鉄の内部では、鉄道労連という旧動労革マルや鉄労などが中心となつた組合が、一企業一組合と称して会社、自民党と結託してわれわれに攻撃をかけ

てきているが、いまやすべての国鉄労働者の怨嗟のまとなりつつあります。鉄道労連松崎を打倒せよ、鉄道労連を解体せよ、これはいまやすべての国鉄労働者の共通の目標となっています。これほどいみざらわれ、憎まれている連中がやっていることが成功するはずがありません。かれらは国家権力の後押しがあるからできるのであります。

闘ったからこそ団結が固まった

こういう状況を突破し、本物の国鉄労働運動を、労働者の立場にたつた闘いを「四・一」から一年たつたここからあらたに始めようではありませんか。その闘いの出発点として、動労千葉と動労総連合がよびかけて、四・九国鉄労働者集会を開催します。

動労千葉は、三〇名あまりの解雇者、そして全組合員がなんらかの処分をうけています。そして、大変な差別・選別攻撃をうけています。しかし、動労千葉は闘ったからこそ団結を強化することができました。わたくしは、このことを大切にしていきたい。闘ったからこそ団結を強化することができ、さらに前進することが出来るのであります。闘ったからこそ、われわれは胸をはって誇りをもって生きていけるのであります。

わたくしはこのことを考えるとき、日本労働運動が全体として産業報国会の道、自民党を支持する労働運動に大きく流れているなかで、わが動労千葉、国労の仲間たちが示した闘いは、普遍的なものとして大きく流れをかえる力となることを確信しています。

三里塚勝利こそ国鉄労働者に必要

わたくしたちは、分割・民営化一周年を期して、新たな闘いに、巨大なストラ

イキの渦を全国にまきおこす決意であります。

この闘いに勝利するためにも、三里塚闘争の勝利は不可欠であります。わたくしは三里塚闘争がはじまったときから反対同盟のみなさんと共に闘ってきました。今年、三里塚闘争はじまって以来最大の正念場をむかえております。

三里塚闘争は、二十数年、国家権力の暴虐に屈せず闘いつづけた農民の歴史であります。この闘いを絶対敗北させてはならない。これは反対同盟農民のみならず労働者、学生、全人民の共通の目標であります。この一年間、敷地内において敵のすさまじい分裂攻撃に対して、それをうち破って闘ってきました。そして、敷地内を守りぬいたことは、きわめて重要なことであると思えます。それとあわせて芝山選挙勝利が示すように、もうひとつの大衆的闘いの火柱を芝山にあげたことは、きわめて重要であり、三里塚闘争の原点にたかえったと思えます。この闘いを反対同盟はやり切った。まさに闘う体制は確立したと確信しております。この反対同盟を先頭に全国から結集し、この秋にも予想される二期着工攻撃に断固たる闘いをいともうではありませぬか。わたくしたちは、この二十数年間の労働連帯のきずなをさらに強化し、発展させ、二期着工を阻止し、そして、国鉄労働運動の勝利と、この二つを結合して闘うならば、絶対勝利の道がきりひらかれると確信しております。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

4.9 国鉄労働者集会

4月9日 15時より
東交会館